



撮影＝本城直季

参加無料 シンポジウム

# 産業と文化 大阪の未来へ

大阪市立大学創立130周年記念事業

- 日時 2010年11月1日(月) 午後6時開場 午後6時30分開演
- 会場 綿業会館 本館7階大会場(重要文化財)
- 定員 250名(当日先着順受付)

大阪市立大学は

今年の11月に創立130周年を迎えます。

「大学は都市とともにあり、都市は大学とともにある」を建学の精神に

これまで歩んできた歴史を踏まえ、この節目の年にあらためて

「都市と市民に貢献する新たな大阪市立大学」の姿を示したいと考えています。

本学は明治13年(1880年)、

大阪財界の指導的立場にあった五代友厚の呼びかけによって誕生した

「大阪商業講習所」をその起源とします。

大阪の知と文化は、常に大阪の産業に支えられてきたといえるでしょう。

そして船場という街は、近代大阪における産業と文化の中心でした。

また船場は、本学が新たな「都市科学」を目指して2006年に設立した

「都市研究プラザ」の主要な研究フィールドでもあります。

船場のいま、そして私たちの試みをご紹介しながら

大阪・船場の歴史と文化を今に伝える重要文化財・綿業会館を会場に

大阪の「産業と文化」、そして未来にむけて大学が果たすべき役割について  
あらためて考えたいと思います。



撮影＝本城直季

# 参加無料 シンポジウム 産業と文化 大阪の未来へ

—— 大阪市立大学創立130周年記念事業 ——

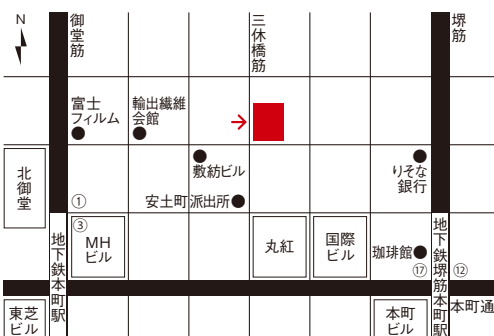
- 日時：2010年11月1日(月) 18:00開場 18:30開演
- 会場：綿業会館 本館7階大会場 (重要文化財) 大阪市中央区備後町2-5-8
- 定員：250名(当日先着順受付)
- 主催：大阪市立大学都市研究プラザ □後援：大阪市 □企画・運営：船場アートカフェ(都市研究プラザ)

## □プログラム

- 18:00 開場
- 18:30 開会あいさつ：佐々木雅幸 (大阪市立大学都市研究プラザ所長、大阪市立大学大学院創造都市研究科教授)
- 18:40 基調講演：嘉名光市 (大阪市立大学大学院工学研究科准教授)  
テーマ：都市デザインの挑戦 コモンズは都市を変えるか
- 18:20 パネルディスカッション  
コーディネーター：橋爪紳也 (大阪市立大学特任教授・大阪府立大学21世紀科学研究機構特別教授)  
パネリスト：佐々木雅幸  
佐藤友美子 ((公財)サントリー文化財団 上席研究フェロー)  
澤田充 ((株)ケイオス代表)  
横川浩 (大阪ガス(株)副社長)〈50音順〉
- 20:20 閉会あいさつ：西澤良記 (大阪市立大学長)
- 20:30 終了

※出演者は事情により予告なく変更する場合があります。ご了承下さい。

- 問い合わせ先 大阪市立大学都市研究プラザ 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138  
Tel:06-6605-2071 Fax:06-6605-2069 <http://www.ur-plaza.osaka-cu.ac.jp/>



□綿業会館案内  
地下鉄御堂筋線 本町駅  
①または③番出口より徒歩5分  
地下鉄堺筋線 堺筋本町駅  
⑦または⑫番出口より徒歩5分  
会場に駐車場はございません。

## Profile

### □プロフィール

嘉名 光市 (かな・こういち)

(大阪市立大学大学院工学研究科准教授)

大阪、神戸など京阪神を中心として都市の再生に向けた都市デザイン、都市計画の実践研究に取り組む。船場げんきの会、船場研究体等、大阪都心の多様な担い手によるまちづくりに参画する一方、船場アートカフェでは、ディレクターとしてアートによるコミュニティ再生、都市空間の活用をめざす「まちのコモンズ」を展開。著書は「生活景—身近な景観価値の発見とまちづくり」(学芸出版社,2009)(共著)など。

佐々木 雅幸 (ささき・まさゆき)

(大阪市立大学都市研究プラザ所長、大学院創造都市研究科教授)

「文化や創造性」によって、衰退した都市を再生させる新たな都市モデル「創造都市論」を提唱し、実践する世界的リーダーの1人。大阪創造都市市民会議やNPO法人都市文化創造機構を設立し、地域社会が抱えるさまざまな課題の解決に尽力している。国際学術雑誌『City, Culture and Society』(Elsevier社)編集長。

佐藤 友美子 (さとう・ゆみこ)

(公益財団法人サントリー文化財団 上席研究フェロー)

1975年サントリー株式会社入社。1989年不易流行研究所の設立に関わり、次世代研究所部長を経て、2008年より現職。専門は生活文化。多様な主体がそれぞれの出来ることを持ち寄るまちづくりを提唱。現在、国土交通省交通政策審議会委員、大阪市教育委員、JR西日本社外取締役等。編著に「成熟し、人はますます若くなる」(NTT出版,2008)など。

澤田 充 (さわだ・みつる)

(株式会社ケイオス 代表)

街づくりを目的とした住環境・商業環境・地域活性の3つの事業領域からなる株式会社ケイオス代表。リクルートを経て1993年に独立。主な実績に「淀屋橋WEST」「淀屋橋odona」「なんばダイニングメゾン」「チャレンジキッチン」「なんばこめじるし」「The Kitahama PLAZA」「イーマ」東京丸の内「トキア」「新丸の内ビルディング」「ダイビル・クリエイティブ・スクエア」「京阪中之島線4駅」「本町ガーデンシティ」「銀座トレジャーズ」など。「北船場くらぶ」「船場地区HOPEゾーン協議会」などにも携わる。

西澤 良記 (にしざわ・よしき)

(大阪市立大学理事長兼学長、医学博士)

大阪市立大学大学院医学研究科修了後、米国カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校医学部内分泌部を経て、昭和54年4月より大阪市立大学勤務。医学部附属病院副院長、医学研究科長・医学部長等を歴任し、平成22年4月より公立大学法人大阪市立大学理事長、大阪市立大学長に就任。専門は代謝内分泌病態内科学。主な著書に『「痛い」「だるい」は生活習慣病のサイン』(講談社,2003)『骨折り損にならないために』(木馬書館,1995)など。

橋爪 紳也 (はしづめ・しんや)

(大阪市立大学特任教授、大阪府立大学21世紀科学研究機構特別教授)

大阪市中央区島之内生まれ。建築史・都市文化論。工学博士。全国各地で市民参加型のまちづくりや地域プロデュースを実践、大阪の都市史や創造都市に関するものなど著作は数十冊。「水都大阪2009プロデューサー」の業績で大阪活力グランプリ特別賞を受賞。大阪府特別顧問、イベント学会副会長、(財)大阪観光コンベンション協会アドバイザー、大阪府文化振興会議会長、船場げんきの会アドバイザーなどを務める。

横川 浩 (よこかわ・ひろし)

(大阪ガス株式会社副社長)

東京大学法学部卒。昭和45年通商産業省入省。近畿通商産業局長、生活産業局長を歴任。平成12年日本貿易振興会理事を経て、平成14年大阪ガス株式会社顧問に就任。同社常務取締役、専務取締役歴任後平成20年副社長に就任。関西においては、関西経済同友会常任幹事、御堂筋まちづくりネットワーク代表幹事、ミナミまち育てネットワーク副会長、大阪陸上競技協会会長、近畿陸上競技協会会長等を務め地域の発展に貢献。

(50音順)